

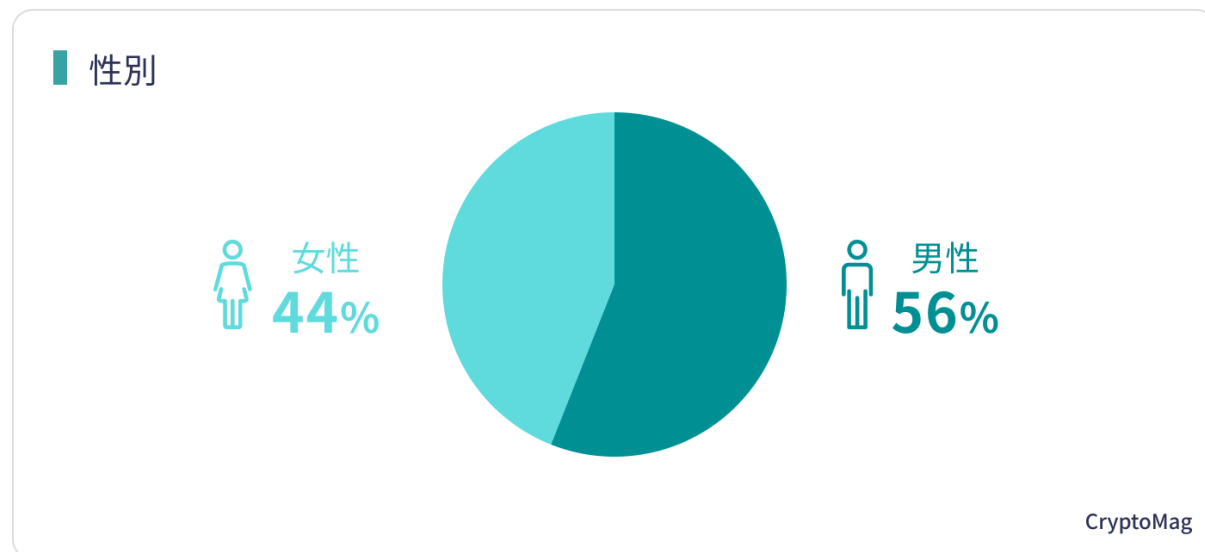
実施したアンケート調査の概要

実施期間	2023年8月10日～2023年8月20日
調査方法	株式会社クラウドワークス及びランサーズ株式会社が提供するインターネットサービスを用いた調査
調査目的	実際のユーザーに人気がある海外仮想通貨取引所を調査する目的
調査対象	現役仮想通貨トレーダー
質問内容	暗号資産(仮想通貨)取引に関する複数の質問
回答数	300名

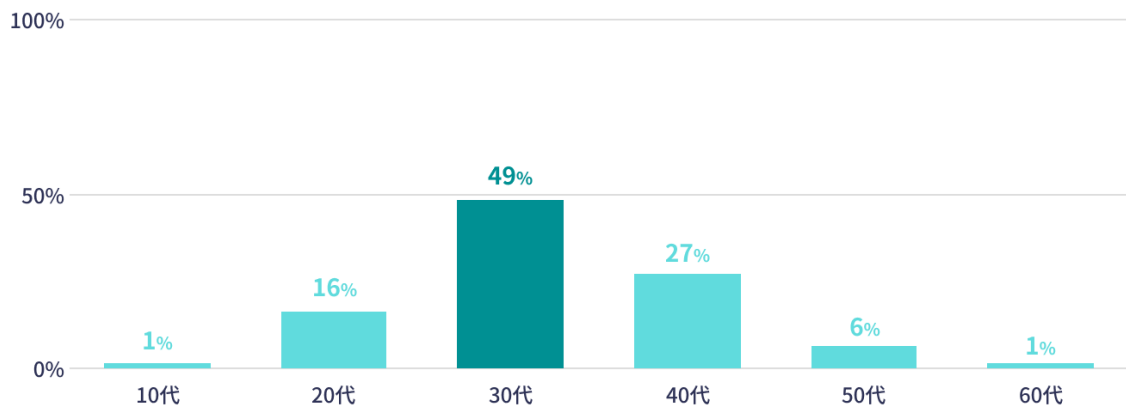
アンケート調査は上記の内容で実施しました。

アンケート調査の結果

Q 性別・年齢・職業を教えてください

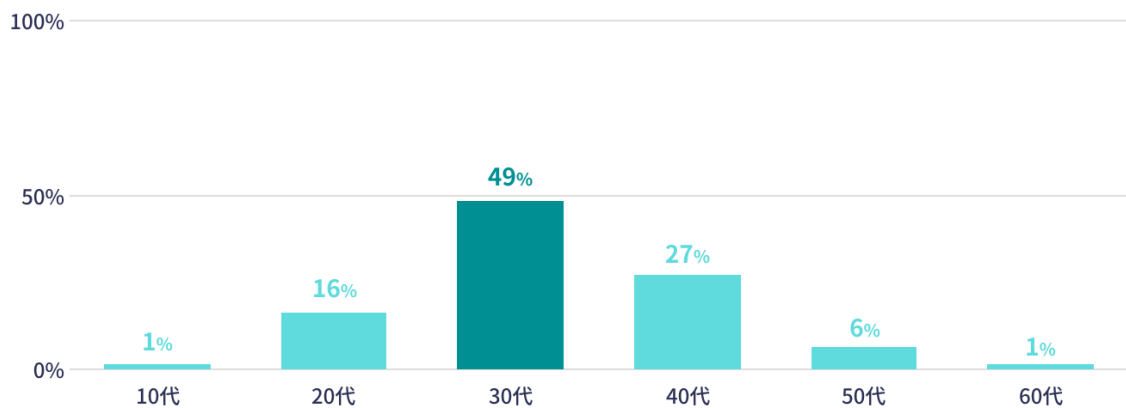


■ 年齢



CryptoMag

■ 年齢



CryptoMag

アンケート調査によると、暗号資産に投資している個人投資家の性別分布は、44%が女性、56%が男性となっています。これは、暗号資産投資が男性だけでなく、女性にも広く受け入れられていることを示しています。

年齢層を見ると、30代が約半数を占め、この年代が暗号資産投資の主要な層となっていることが明らかになりました。

さらに興味深いのは、投資家の職業に関する結果です。多くの方が会社員として働きながら暗号資産への投資を行っており、会社員が半数以上を占めています。また、アルバイトや専業主婦の方々も投資家としての存在感を示しており、暗号資産投資は多様な職業の人々に受け入れられていることが伺えます。

Q 暗号資産(仮想通貨)投資を始める前に投資経験はありましたか？

■ 投資経験の有無



CryptoMag

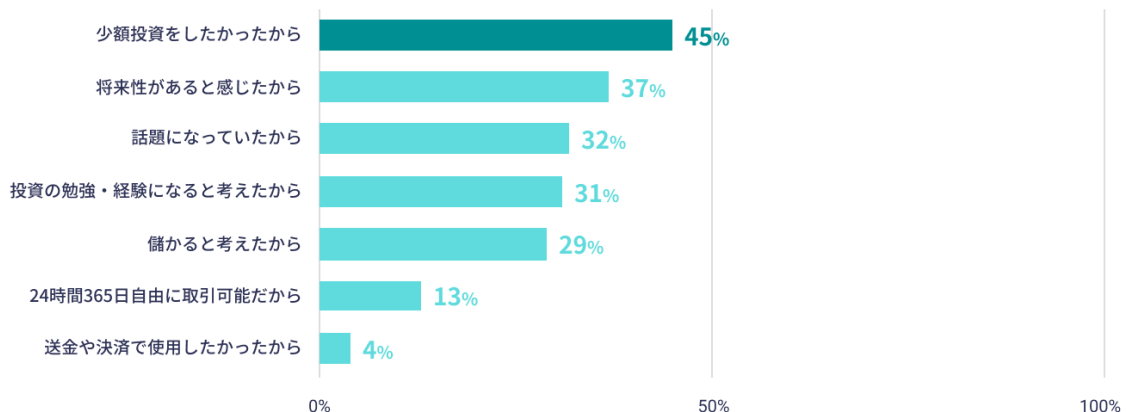
投資経験の有無については、59%の方が以前から何らかの投資経験が「あり」と回答しています。これは、株式投資や不動産投資など、他の投資手段に慣れ親しんでいる方々が、暗号資産という新しい投資先にも関心を持っていることを示しています。

一方で、41%の方が「投資未経験」から暗号資産投資をスタートしています。この数字は、暗号資産が初めての投資としてもアクセスしやすい、または興味を引きつける特性を持っていることを示唆しています。

このデータから、暗号資産は経験豊富な投資家だけでなく、投資初心者にとっても魅力的な選択肢として位置づけられていることが伺えます。

Q 暗号資産(仮想通貨)投資を始めた目的を教えてください

■ 暗号資産(仮想通貨)投資を始めた目的



CryptoMag

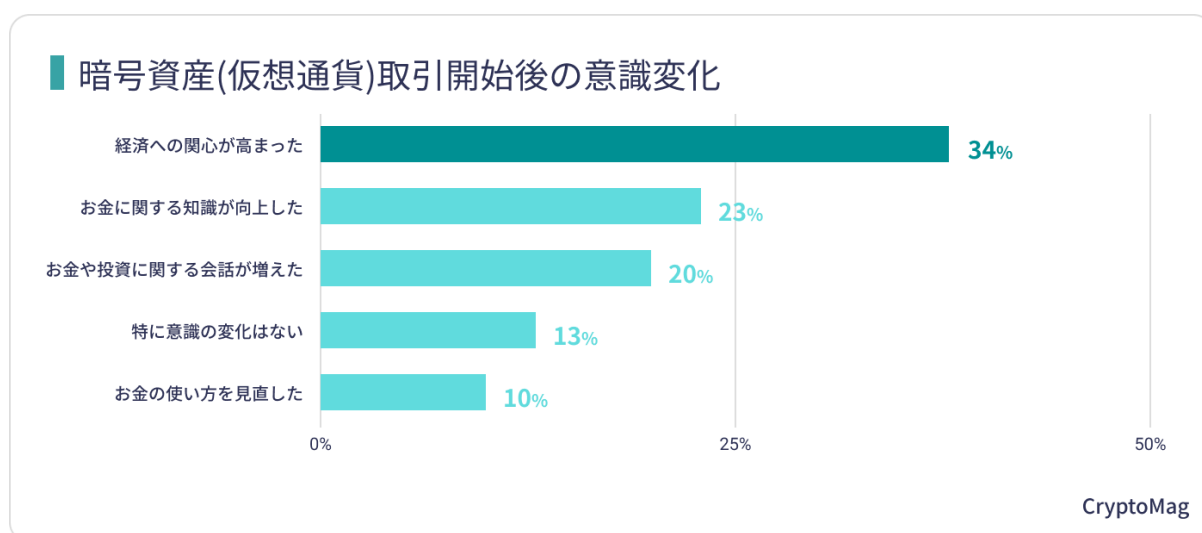
暗号資産投資を始める主な動機にはいくつかの特徴が見られます。

1位は「少額投資」で45%となっており、これは暗号資産が低い資金から始められるアクセスしやすい投資先であることを示しています。この結果から、多くの人々が大きなリスクを取らずに投資を始める手段として暗号資産を選んでいることが伺えます。

2位は「将来性があると感じたから」という理由で、37%の人々がこの動機で暗号資産投資を始めています。暗号資産の技術的な背景や、それがもたらす潜在的な革命的变化に対する期待感が、多くの投資家を引きつけていることがわかります。

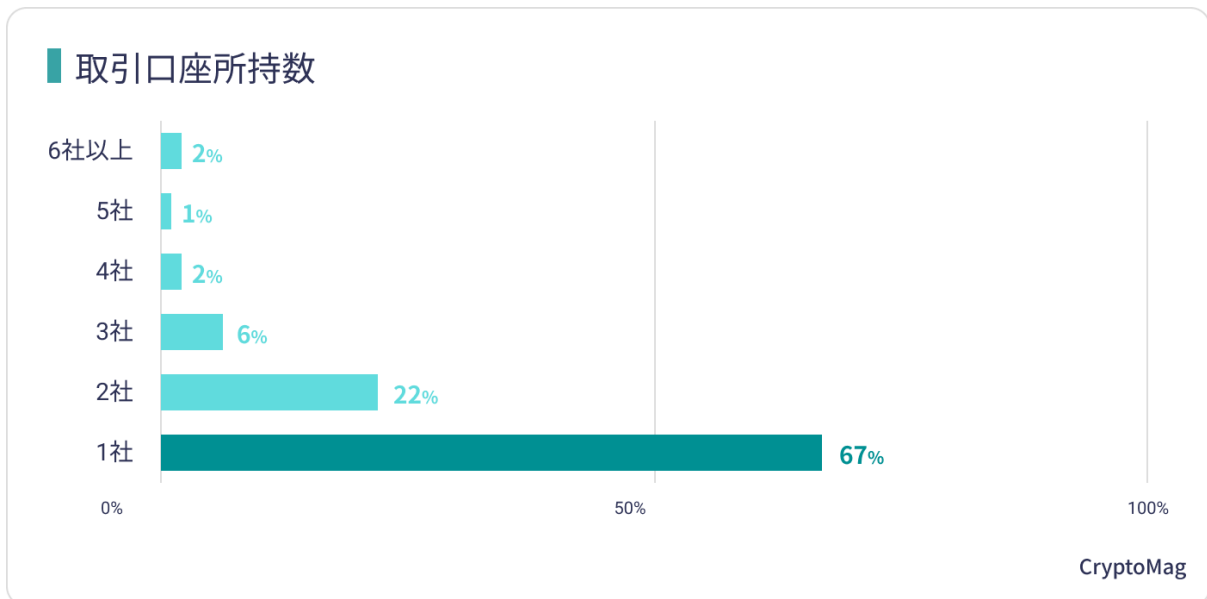
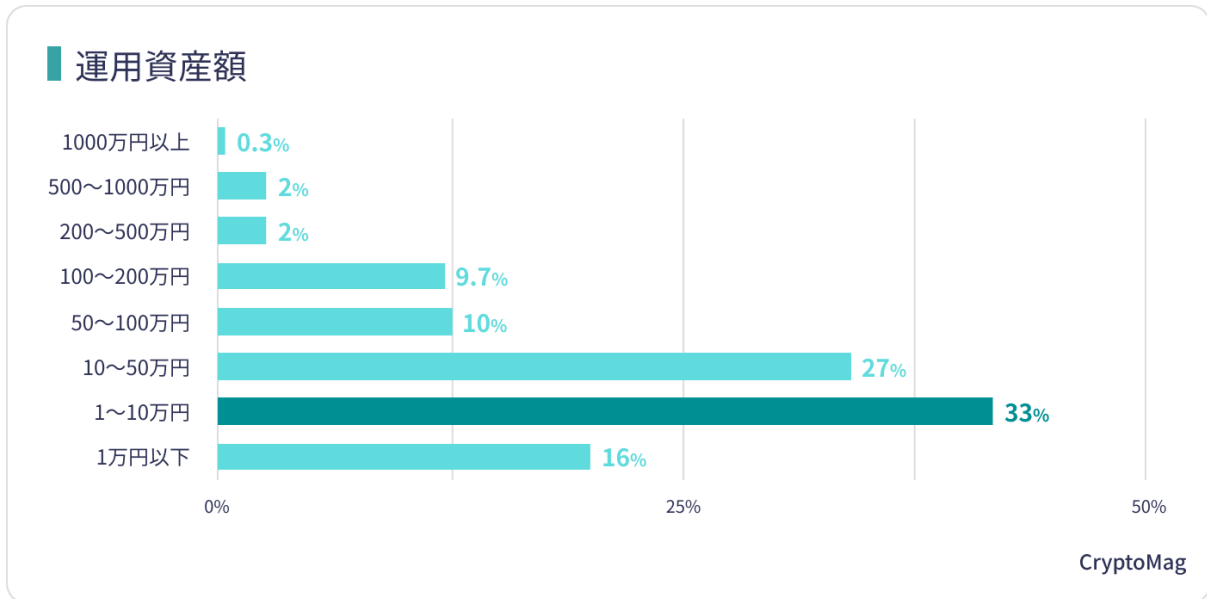
これらの結果を通じて、暗号資産はその手軽さと将来のポテンシャルの両方で、多くの人々の関心を引きつけていることが明らかになりました。

Q 暗号資産(仮想通貨)取引を始めて意識の変化はありましたか？



「経済への関心が高まった」と「お金に関する知識が向上した」という回答が多数を占めています。これは、暗号資産が単なる投資対象としてだけでなく、経済全体に対する新しい視点や理解をもたらしていることを示唆しています。

Q 運用資産額とお持ちの暗号資産(仮想通貨)取引所口座数を教えてください



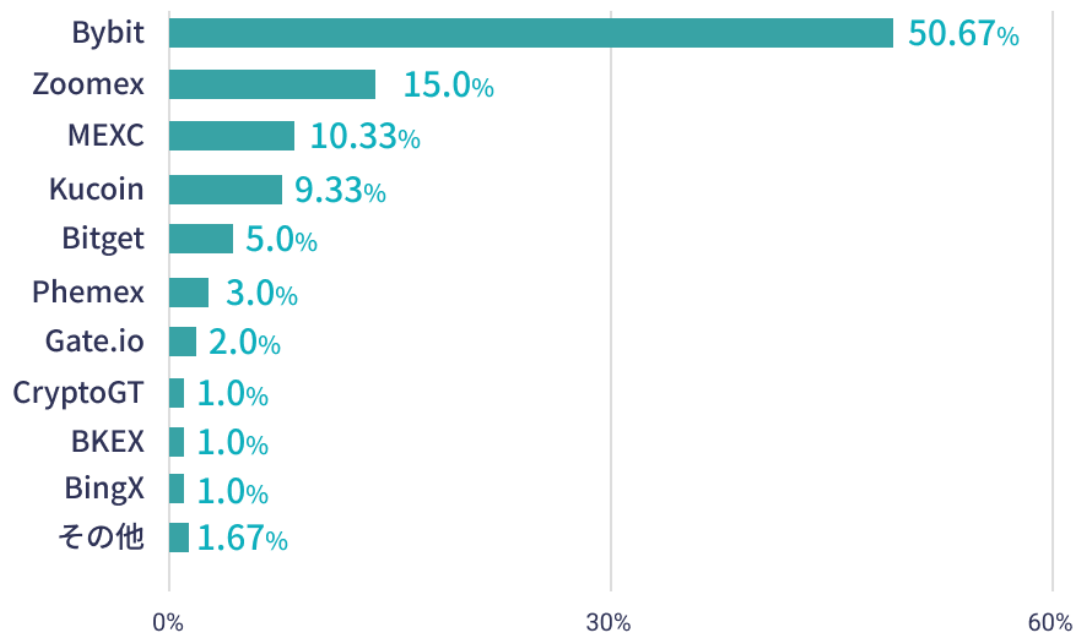
多くの人々が10万円未満の少額で暗号資産の運用を試みていることは、この投資領域が低いハードルでアクセス可能であることを示しています。初心者や投資に慣れていない人々にとっても、暗号資産は手軽に始められる魅力的な選択肢となっています。

しかし、多くの人々が1つの取引所のみを利用しているというデータは、暗号資産のポテンシャルを最大限に引き出すための方法にまだ気づいていないことを示唆しています。複数の取引所を利用することで、異なる取引ペアや特定の取引所独自のプロモーションを活用することができます。これにより、投資の機会を増やし、リスクを分散させることが可能となります。

結論として、暗号資産はそのアクセスの容易さと多様性により、多くの人々にとって魅力的な投資先となっています。しかし、そのポテンシャルを最大限に活用するためには、取引所の選択や資産の分散など、さらなる戦略的なアプローチが求められるでしょう。

Q 最も頻繁に取引をしている海外取引所を教えてください

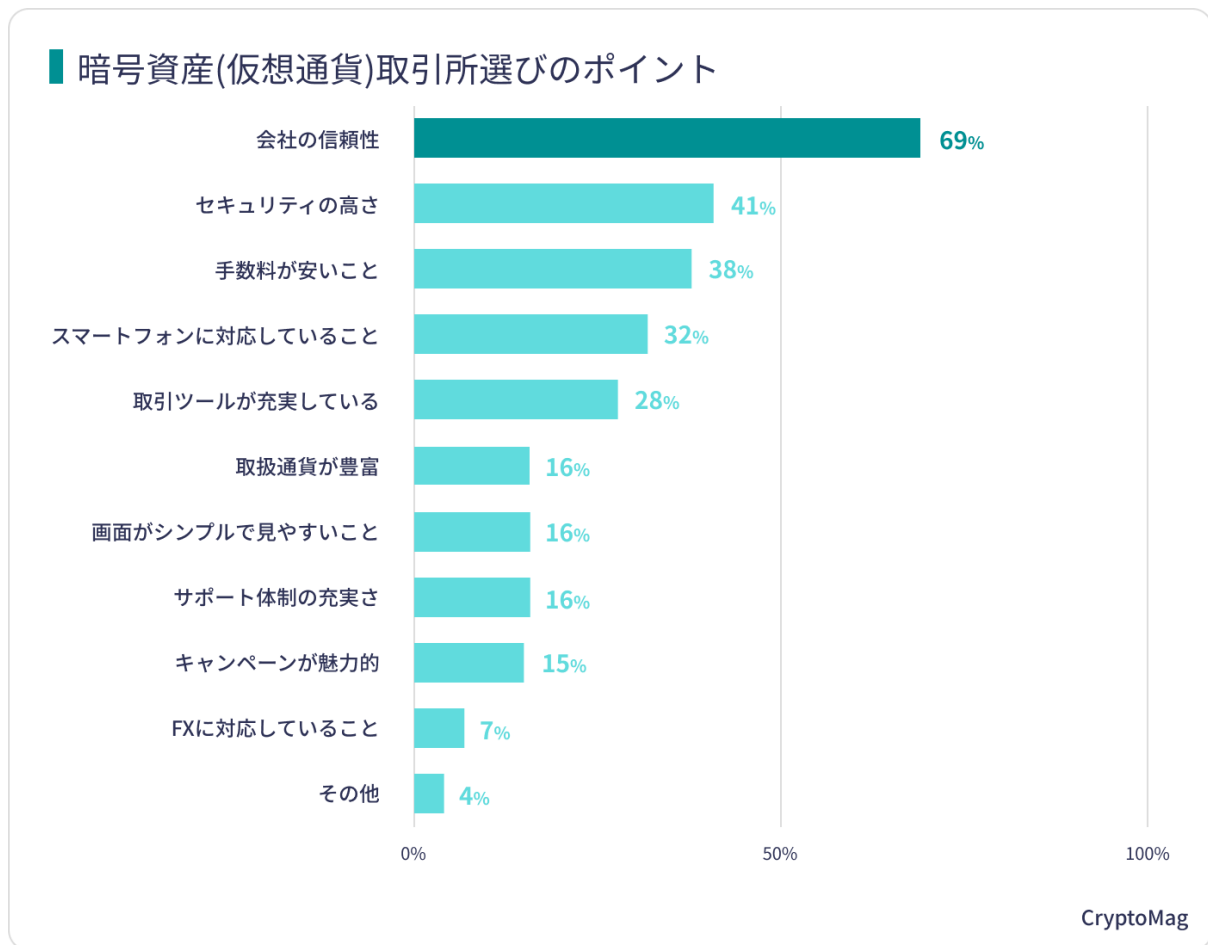
■ メイン口座にしている海外取引所



CryptoMag調べ (n = 300)

海外取引所では[Bybit](#)や[Zoomex](#)といった大手取引所を口座開設している方が多いことが分かりました。

Q 暗号資産(仮想通貨)取引所選びのポイントは何ですか？



暗号資産取引所を選ぶ際のユーザーの意識を示すアンケート結果から、以下のポイントが重要であることが明らかになりました。

会社の信頼性: 取引所の背後にある企業の信頼性や実績は、ユーザーにとって最も重要な選定基準の一つです。取引所が安定して運営されているか、過去に大きなトラブルがないかなど、信頼性を確認する情報は必須です。

セキュリティの高さ: 暗号資産の取引所は、過去に何度もハッキングの被害に遭っています。そのため、セキュリティの強化や対策がしっかりと行われているかは、ユーザーにとって非常に重要なポイントです。

手数料の低さ: 同じ商品を取引する場合でも、取引所によって手数料が異なることがあります。手数料を節約することで、投資のリターンを向上させることができます。

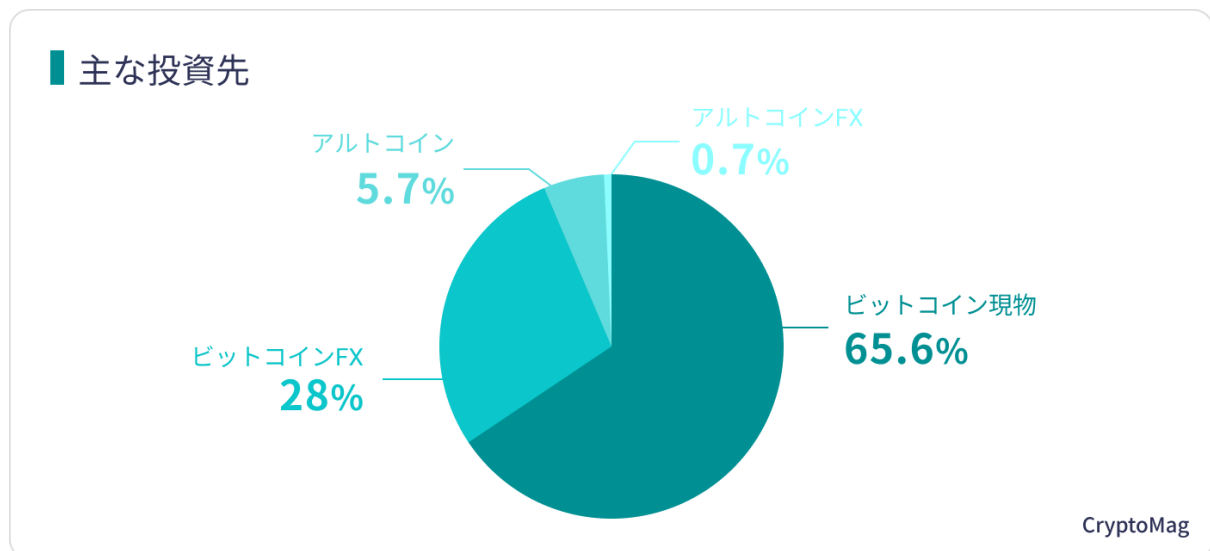
モバイル対応: スマートフォンでの取引が増えている現代において、モバイル対応は必須の機能となっています。

取引ツールの充実度: チャートやオシレーターなどの分析ツールは、トレードの成功を左右する重要な要素です。取引ツールが充実している取引所は、上級者から初心者まで幅広いユーザーに選ばれる傾向があります。

取扱通貨の多さ: 多くの仮想通貨を取り扱っている取引所は、投資の選択肢を増やすことができます。

これらのポイントを踏まえて、各取引所のサービスや特徴を比較することで、自分の投資スタイルやニーズに合った取引所を選ぶことができるでしょう。

Q 主な投資先を教えてください



暗号資産の投資先に関するアンケート結果から、以下の傾向が見受けられます。

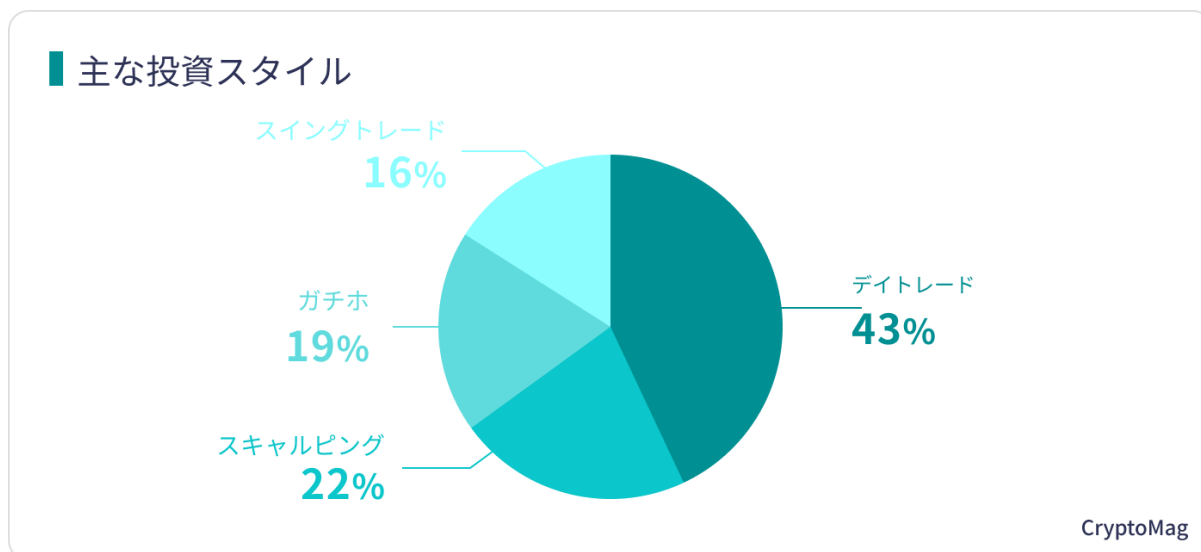
ビットコイン現物が主流: 65.6%という高い割合でビットコインの現物取引が行われていることから、投資家の中でビットコインは安定した人気を保持していることが伺えます。ビットコインは暗号資産の中でも最も知名度が高く、初心者にとってもアクセスしやすい投資先となっています。

FX取引の存在感: 28%の投資家がビットコインのFX取引を行っていることから、リスクを取ってでも高いリターンを求める本格的なトレーダーの存在が示されています。FX取引はレバレッジを利用することで大きな利益を狙うことができますが、同時に大きなリスクも伴います。

アルトコインへの関心: 現物とFXを合わせて6.4%の投資家がアルトコインに投資していることから、ビットコイン以外の通貨への関心も一定数存在していることがわかります。アルトコインはビットコインに比べて市場規模が小さいため、大きな変動が起こりやすいという特徴があります。

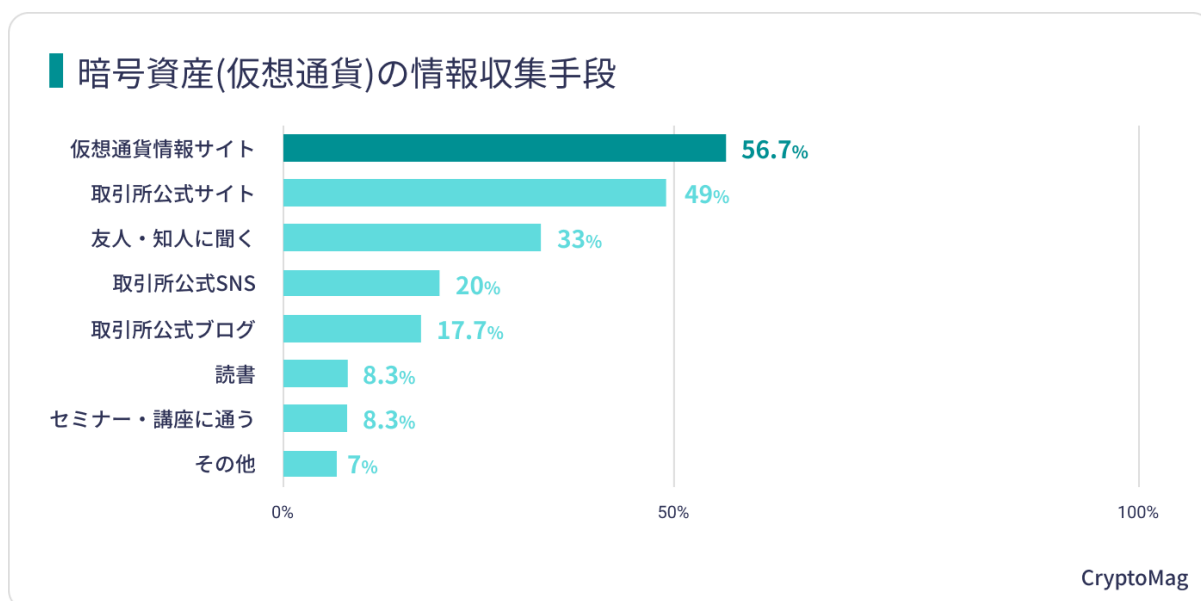
総じて、多くの投資家は安定したビットコインの現物取引を選んでいるものの、より高いリターンを求めるトレーダーはFXやアルトコインへの投資も行っているという状況が浮かび上がります。投資家は自身のリスク許容度や投資目的に応じて、適切な投資先を選択しているようです。

Q あなたの主な投資スタイルを教えてください



投資スタイルでは、『スキャルピング』や『デイトレード』、『スイングトレード』で投資しているユーザーが多く、長期的に保有する『ガチホ』は意外と少ないという結果となりました。ご自身の得意・不得意や投資に費やせる時間などを考慮して皆さんそれぞれが暗号資産の投資スタイルを確立されているようです。

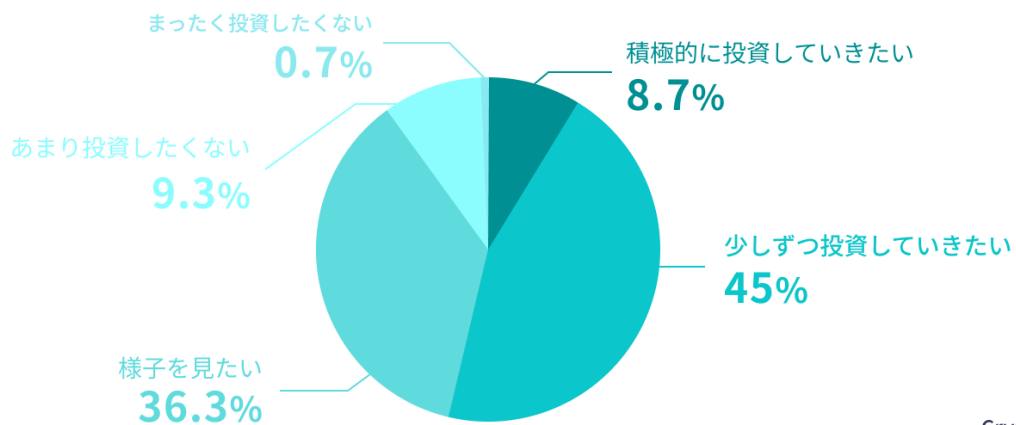
Q 暗号資産(仮想通貨)の情報収集はどのようにしていますか？



情報収集では、「取引所公式サイト (49%)」を押さえ、56.7%が「暗号資産(仮想通貨)情報サイト」にて暗号資産の情報収集を行っていると回答しました。暗号資産投資は大切な資金を預ける必要があるため、多くの方がより客観的な情報を求めていることが分かります。

Q 今後も暗号資産(仮想通貨)を保有し続けますか？

■ 今後の暗号資産(仮想通貨)への投資意向

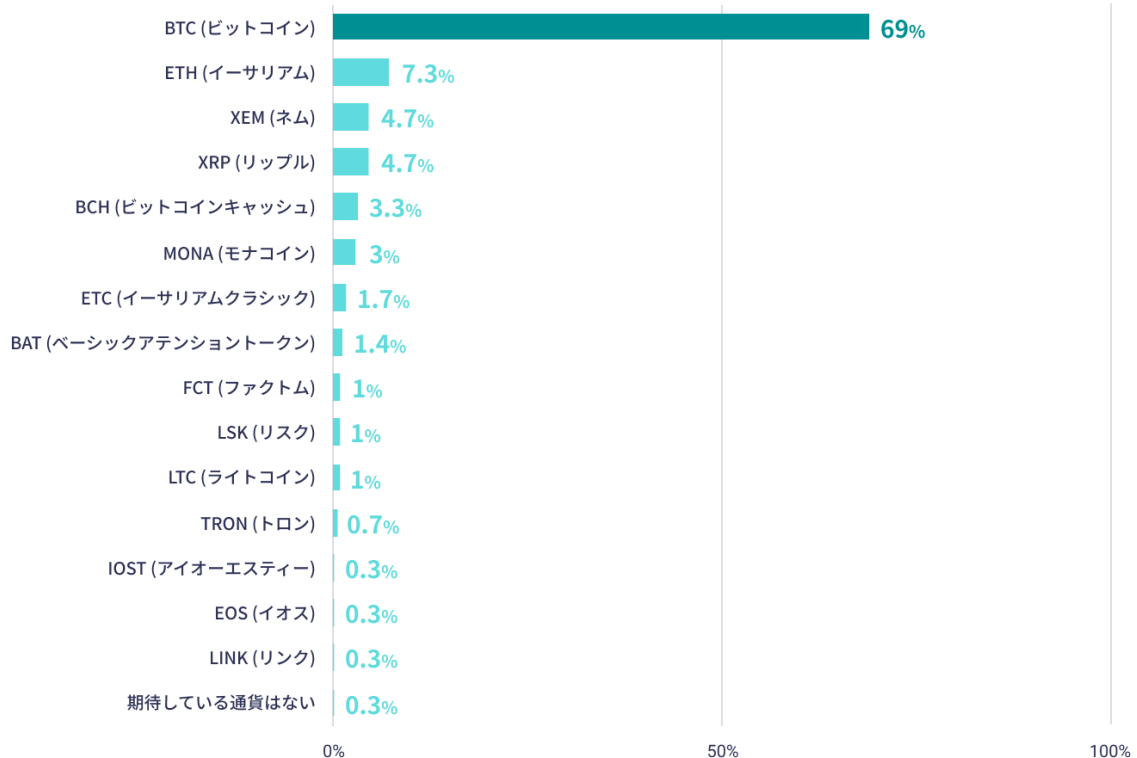


「積極的に投資していきたい」「少しずつ投資していきたい」といった方が過半数 (53.7%) を占めています。暗号資産投資を引き続き行ってきたいという理由には『これからはキャッシュレスが主体になってくるだろうから、暗号資産の価値がもっと上がってくると思っているから』や『暗号資産市場はまだまだ小さく、これから大きくなっていくと思うし儲けられそうだから』といった回答が寄せられました。

一方、「様子を見たい」や「あまり投資したくない」といった回答の理由としては『上がり下がりが激しく、高額投資するにはやはりリスクが高いから』や『良くも悪くも一時ほど騒がれなくなってきており一般に普及しない可能性も大きい』ため、様子を見つつ方向性を決めたい』などの回答がありました。

Q 2023~2024年に一番価格上昇に期待している通貨は何ですか？

■ 価格上昇を期待している通貨

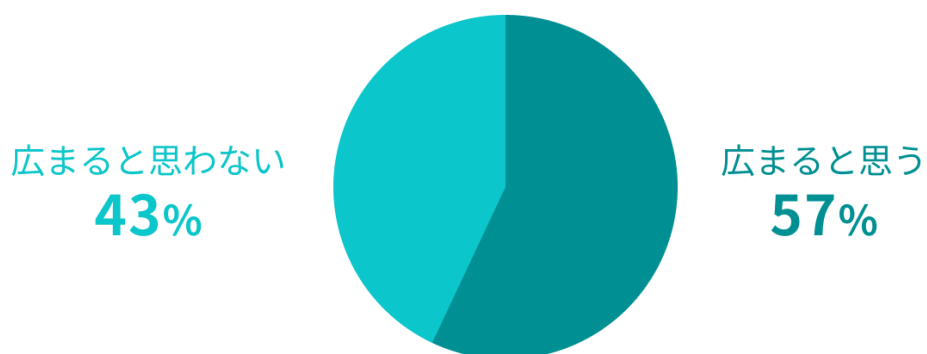


CryptoMag

価格上昇に期待している通貨では、1位に「ビットコイン(69%)」、2位に「イーサリアム(7.3%)」、3位に「ネム(4.7%)」でした。ビットコインが大差をつけて1位であることから、暗号資産の基軸通貨として揺るがないポジションを確率していることが分かります。

Q 暗号資産(仮想通貨)は日本でも決済手段として普及すると思いますか？

■ 決済手段としての暗号資産(仮想通貨)の期待度



CryptoMag

決済手段としての暗号資産の普及について、57%のユーザーが「広まると思う」と回答しました。やはり全体的に暗号資産の今後に期待しているユーザーが多いということが分かります。

アンケート調査をまとめた株式会社イードについて

運営会社名	株式会社イード(IID, Inc.)
法人番号	5011201013586(国税庁 ・ 経済産業省)
代表取締役	宮川 洋
所在地	〒164-0012 東京都中野区本町一丁目32番2号
公式URL	https://www.iid.co.jp
設立日	2000年4月28日
資本金	50,000,000円 (2023年5月末日時点)
上場市場	東京証券取引所 グロース (証券コード: 6038)
上場日	2015年3月24日
事業内容	メディア事業 、 リサーチ事業 、 メディアコマース事業
連絡先	お問い合わせフォーム よりお願い致します